

事務事業名	不妊治療費助成事業	事務事業No.	10202000342	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成20年度に不妊治療費の一部を助成する事業開始。助成額は5万円を限度に年1回、通算5年間助成と決定。国では、不妊治療の公費助成について、平成26年度から段階的に制度見直しを導入され、平成28年度から対象年齢に上限が設けられ、助成回数等も変更となった。令和元年度より男性不妊も助成対象に追加。令和2年度より1回の助成額上限10万円へ増額。令和4年度から不妊治療が保険適用となり、県の助成の終了に伴い市の助成も終了となる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
令和4年より不妊治療は保険適用となったが、治療費の自己負担額が発生する。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子育て支援及び少子化対策について、経済面で結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 少子化対策の一環として行っていた事業であったが、令和4年度から保険適用になり助成と同等の補助が受けられるため、市の助成は不要と考える。一部の治療に関しては令和5年度まで申請がある可能性があるので申請者には手続きを行う。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 令和4年度から不妊治療が保険適用になり、それに伴い県の助成事業が終了となるため、市の助成も終了とした。一部の治療に関しては令和5年度まで申請がある可能性があるため申請者には手続きを行う。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input type="checkbox"/> 影響無 助成はなくなるが、保険適用となるため影響は少ない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため、統廃合不可である。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 対象者にとっては、不妊治療助成金支払いのための手続きに来庁する必要性がなくなるため、負担がなくなる。また支払い手続きのための人件費がかからなくなるため、人権費が削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 保険適用に伴い市の助成が終了となることをホームページで周知している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	助成事業開始時期に比べると、事業の主旨が浸透してきており、申請者数・妊娠者数・出産者数共に増加傾向にある。令和4年度より不妊治療が保険適用となるため、それに伴い市の助成事業も終了となる。令和3年度中に治療を開始した者については、助成の対象となるため申請があった者については助成を行う。(令和5年度まで申請がある可能性あり)																			
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 令和4年度から不妊治療が保険適用となり、県の助成の終了に伴い市の助成も終了		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持					低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持																					
低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 -																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 確認 令和4年度から不妊治療が保険適用となり、県の助成の終了に伴い市の助成も終了となる